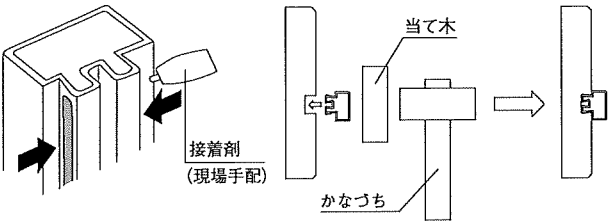


## 戸当りの取付

- ①戸当りを枠内寸法に合わせてカットし、お手持ちの木工用ボンド（白）を戸当りに塗布してください。※はみ出しの無いようにしてください。
- ②必ず、パッキン付・パッキンなしともに図のように大きい方を扉側に向けて取り付けてください。※戸当りは左右非対称です。

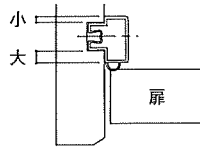
（戸当り詳細図）



戸当りにはパッキン付とパッキンなしの2種類あります。

	片開き
パッキン付	タテ枠 (取手側)
パッキンなし	上枠 タテ枠 (蝶番側)

戸当りの向きに注意!!

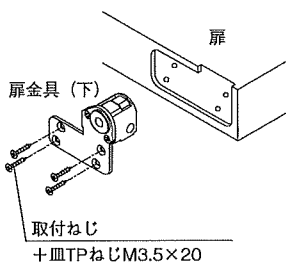


## ピボット金具の取付方法(別梱包部品)

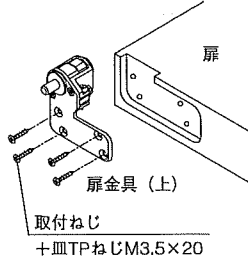
扉・枠の加工位置に金具をはめ込み、取付ねじで固定してください。  
※ (R) を示す。

### ●扉側

下部



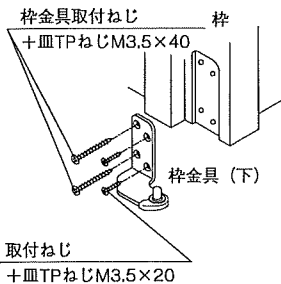
上部



### ●枠側

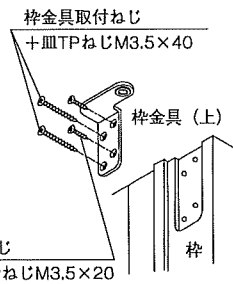
下部

必ず長ねじ(40mm)を使用してください。



上部

必ず長ねじ(40mm)を使用してください。



### ▲注意

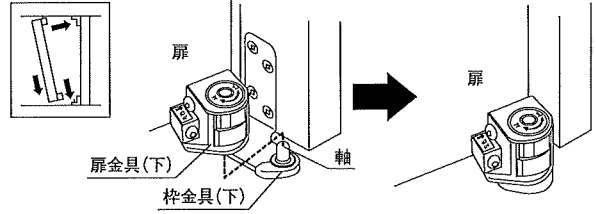
取付ねじは必ず同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると扉の脱落や垂れ下がりなどの原因となります。

## 扉の吊り込み方法

### ▲注意

建具の吊り込みは、必ず2人以上で行ってください。

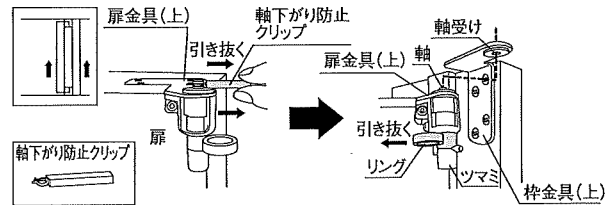
- ① 枠金具（下）の軸に扉金具（下）を差し込みます。



### ▲注意

扉金具（下）を差し込む際、軸に対して扉を極度に傾けると枠金具（下）の軸が曲がるおそれがあります。扉の脱落や蝶番の破損の原因となります。

- ② 1. 枠金具（上）の軸上部の軸下がり防止クリップを引き抜いてください。  
2. 扉金具（上）の軸を枠金具（上）の軸受けに合わせ、リングを引き抜いて軸を差し込みます。（リングを抜くと軸が上がります）



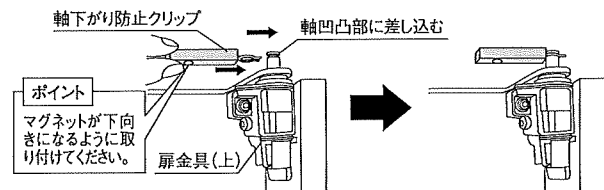
### ▲注意

軸が軸受けに入ったことを必ず確認してください。  
扉の脱落・転倒などによりケガをするおそれがあります。

### ポイント

- ・リングが外しにくい場合は、ツマミを左右に動かしてください。
- ・ドアの吊り込みを再度行う場合は、ツマミを下に引っぱり軸を下げた状態で軸受けに差し込んでください。

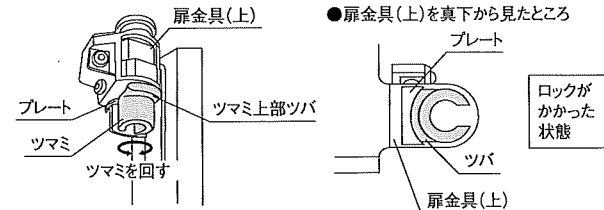
- ③ ②で引き抜いた軸下がり防止クリップを扉金具（上）軸上部の凹凸に取り付けてください。  
※軸下がり防止クリップに付いているマグネットが下向きになるように取り付けてください。



### ▲注意

軸下がり防止クリップが確実に取り付けられているか必ず確認してください。  
扉の脱落・転倒などによりケガをするおそれがあります。

- ④ 扉金具（上）のツマミを回し、ツマミ上部のツバを後方のプレート内に完全に納めてください。



### ▲注意

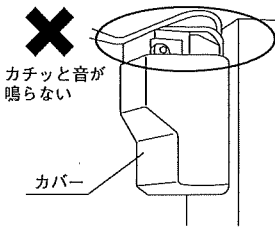
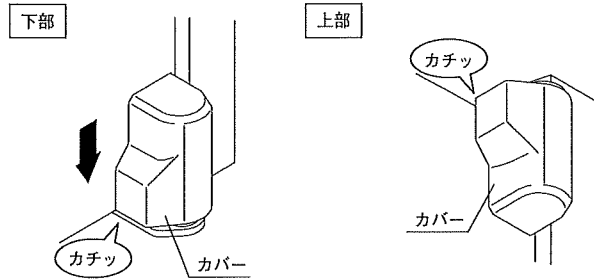
・ツマミ上部のツバが確実にプレート内に納まっているか必ず確認してください。扉の脱落・転倒などによりケガをするおそれがあります。

### ポイント

- ・ツマミを回すことで軸下がり防止のロックがかかります。
- ・ツマミを回し忘れた場合、ヒンジカバーが取り付けられません。

ヒンジカバーの取付

カバーを扉金具に取り付けます。  
カバーはカチッと音が鳴るまでしっかりとはめてください。



注意

扉上部カバーが取り付けられない場合、ドアの吊り込みが正しく行われず、軸下がり防止ロックが掛かっている可能性があります。この手順が正しく行われていない場合、扉の脱落や蝶番の破損などの原因となります。

調整方法

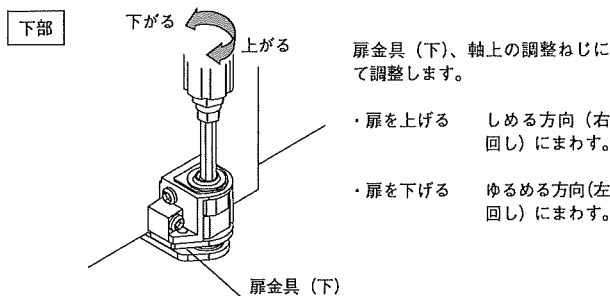
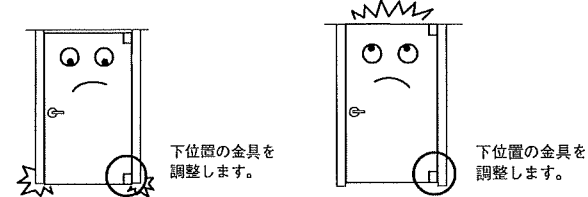
扉の建てつけ調整方法

扉の調整は、扉を吊った状態で扉金具（上・下）の調整部分に調整レンチ（同梱品）を差し込み、調整を行います。

- 調整ねじは一気に回さず「微調整→ドアを開閉して確認」を繰り返し行ってください。
- 調整量以上のしめ過ぎ、ゆるめ過ぎには注意してください。調整ねじが外れ、調整できなくなるおそれがあります。

上下調整の方法 (上下調整量 上方向：2mm 下方向：2.5mm)

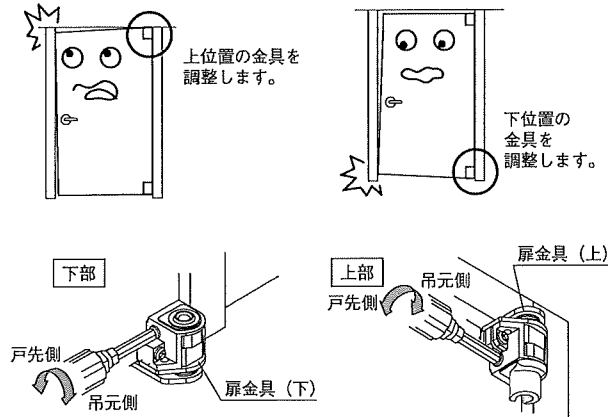
- ドアの下部が床に当たるとき
- ドアの上部が天井に当たるとき



- ・扉を上げる しめる方向(右回し)にまわす。
- ・扉を下げる ゆるめる方向(左回し)にまわす。

左右調整の方法 (左右調整量 吊元側方向：2mm 戸先側方向：2mm)

- ドアの上部が枠に当たるとき
- ドアの下部が枠に当たるとき

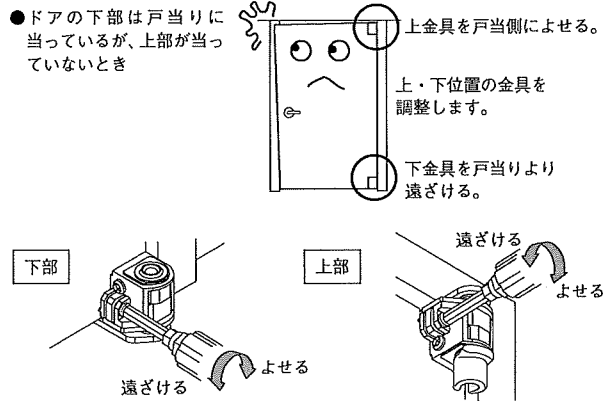


上下の扉金具の調整ねじにて調整します。

- ・扉を吊元側によせる しめる方向(右回し)にまわす。
- ・扉を戸先側によせる ゆるめる方向(左回し)にまわす。

前後調整の方法 (前後調整量 前方向：1.5mm 後方向：1.5mm)

- ドアの下部は戸当りに当たっているが、上部が当たっていないとき

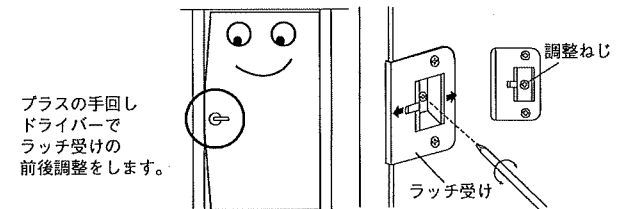


上下の扉金具の調整ねじにて調整します。

- ・扉を戸当り側によせる しめる方向(右回し)にまわす。
- ・扉を戸当りより遠ざける ゆるめる方向(左回し)にまわす。

ラッチ受け調整の方法 (前後調整量 前方向：2.3mm 後方向：2.3mm)

- ラッチがラッチ受けに入らないとき
- ドアがガタつくとき



プラスの手回しドライバーでラッチ受けの前後調整をします。

注意

調整を行う場合、電動ドライバーは使用せず、必ず、手回しのドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると金具破損の原因となります。